

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第7期相模原市中央区区民会議小委員会（グループ2）		
事務局 (担当課)		中央区役所区政策課 電話042-769-9802（直通）		
開催日時		令和5年6月14日（水） 10時30分～11時40分		
開催場所		市民会館2階 第2中会議室		
出席者	委員	7人（別紙のとおり）		
	その他	0人		
	事務局	2人（区政策課職員）		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		開 会 1 議題 第7期中央区区民会議重点行動について ・「相模原駅周辺地区におけるにぎわいの拠点づくり」 ・「地域公共交通網の構築」 2 その他 閉 会		
会議結果概要		以下の3点を中心に今後の具体的な検討を進めていくこととした。 ・タクシー事業者等に働きかけを行うこと ・各地区の移動支援に関する課題や困り事についての情報収集を行い、区民会議としての取組を具体的に検討すること ・地区で使用している青パトを移動支援に活用していくこと		

主な内容は次のとおり。

開 会

事務局から、運営に係る事務説明を行った。

—傍聴希望者 なし—

1 議題

地域包括ケア推進課中村総括副主幹より、配布資料に基づき、本市の移動支援・買い物支援についての説明があった。説明に関する主な質疑応答と主な意見などは以下のとおり。

(小林委員)

地域で開催される会議に、移動支援に関する情報提供が届いていなかった。個人的な取組として、地区社協に車両を寄付して移動支援に活用していただく提案をしたが、運転手不足の課題から実現しなかった。移動支援の議論になると、中山間地域が取り上げられるが、上溝地区などの中央区においてもバスなどが利用できず、移動が大変な地区がある。他県の事例では成功した事例もあるので、市が積極的に取り組まれるよう検討いただきたい。

⇒昨年度から、庁内横断的な連携を行う会議を立上げ、その取組テーマとして交通の課題を掲げているところであり、引き続き取組を進めていきたい。また、地域づくり部会などでの説明が不十分だったとのことで、その周知方法を含めて確認したい。(地域包括ケア推進課中村総括副主幹)

(中村委員)

移動支援に関する説明の中で、一般企業が協力しているとのことだったが、企業側はどのような関わり方なのか。

⇒一例として、移動支援に使用する車両の駐車場の確保などにご協力いただいているほか、企業が実施している有償の買い物送迎サービスの案内に活用いただいている。

(小林委員)

若葉台地区で実証運行されたグリーンスローモビリティは、交通量の少ない地域での実現性はあるが、交通量の多い中央区では交通渋滞の懸念があり、導入が難しいのではないか。

(田所委員)

説明があったモデル事業（高齢者移動支援推進モデル事業）は、今回、初めて聞いた。運転手の高齢化の問題もあるが、タクシー会社や運送業者などの専門業者に任せられないのか。

⇒運転手不足の問題もあり、担い手となることは難しいという話だった。(地域包括ケア推進課中村総括副主幹)

(入谷委員)

運転手不足では2040年問題があり、様々な技術を活用した運送サービスが必要な状況である。こういうことを踏まえると、移動支援を運転のプロに担ってもらうのは難しい。デイサービスや幼稚園の送迎は、朝夕の時間帯が中心となるので、その間隙を縫って、移動支援に協力してもらい、かつ、企業側にもメリットがある仕組みを考えていく必要がある。

(田所委員)

社会福祉法人が車両だけを貸す、ということはあるのか。

⇒実例としてある。ワゴン車の運転が難しければ軽自動車を使用してはどうか、というような法人側からの配慮をいただくこともある。また、車両と運転手の両面で協力してくれるパターンもある。(地域包括ケア推進課中村総括副主幹)

(田所委員)

田名地区では、自治会長を1年務めた後に、青パトを運転していると聞いた。自治会を通じてこういう方に依頼をすれば、運転手の確保ができるのではないかと。また、軽自動車の青パトをワゴン車等に変えれば、買物支援に活用できるのではないかと。運転手に謝礼を払う分を、車両の確保に充てることも検討してはどうか。

(入谷委員)

宮下地区では、独自の青パトを持っている。毎日、向陽小学校の下校時間に合わせてパトロールを実施しており、定年退職した65歳以上の方もいれば、若い女性が担っているケースもある。自治会で名簿を作成して、ローテーションを組んでパトロールを実施している。60代で元気な方は、収入を得たいと希望する人が多く、自治会の高齢化が進んでいることもあって、60代の担い手が希少となっている。移動支援の担い手をボランティアとして募る場合、5年、10年後のトレンドは、70代以上の方が担い手の中心となってくるのではないかと。これを避けるために、幼稚園やデイサービスなどの運転手の隙間時間を活用していく必要がある。また、ボランティアとして、移動支援の運転手を募るのは、継続性の問題もあるので、きちんと予算を確保して報酬を支払う必要がある。説明の中で、移動支援を自治会長が担っているとのことだったが、継続性の問題があると思う。

⇒試行的に実施しているものであるが、お見込みの通り、継続的に実施するためには、組織的な対応が必要である。(地域包括ケア推進課中村総括副主幹)

(小林委員)

デイサービスセンターなどの運転手の隙間時間を活用するとあったが、運転手の方は、送迎の間、除草作業などの別な仕事があり、移動支援を担っていくことが難しいという話もある。加えて、事故や保険の問題もある。地区からタクシー事業者に対して、乗合タクシーやデマンド運行を要望したが実現しなかった。地区や個人での実現は難しいので、市としても事業者にも要望して欲しい。

(田所委員)

本来であれば、病院などの事業者がバスを出してくれれば便利になるが、個人で希望する時間と合わないこともあるので、活用が難しいこともある。

(桑水流委員)

小林委員と一緒に地区であるが、過去に買物支援の実現に向けて取り組んだが、運転手の確保や保険などの問題があり実現しなかった。今回説明された運行経費の補助制度は、その当時にはなかったようだが、このような制度の情報提供があると良い。

⇒皆様から要望に応じ説明に伺い、地域と一緒にやり、実現出来る方法を検討していきたい。(地域包括ケア推進課中村総括副主幹)

(小林委員)

青パトを軽自動車からワゴン車にすれば、パトロールと買い物支援の両方に活用できる。良いアイデアなのではないかと。

(入谷委員)

説明のあった補助金の上限額である50万円の積算根拠は。

⇒市内の他地区で実施している事業の収支や市外の情報を参考に積算している。運行方法によっても必要な金額が異なってくることから、今年状況を踏まえながら、引き続き検討していく。(地域包括ケア推進課中村総括副主幹)

(入谷委員)

物価高騰の影響もあり、スピーディーな対応が必要だと考える。また、かかりつけ医が推

奨られているので、クリニック等との連携も視野に検討していただきたい。

(事務局)

グループとして、買物支援の具体的な検討を進める必要があるが、次回の区民会議では、更に行政側からの説明を求めるのか、皆様の方で次回までに何か決めてくるのか、いかがか。
⇒地域で検討すべき課題が異なってくるのではないか。例えば、小山地区では、新しいスーパーマーケットができたことにより、一定金額以上からではあるが、宅配サービスを使用することができるようになった。一律で何かを決めるのではなく、モデル地区のような検討をする方が良い。(入谷委員)
⇒中央区の中でも地域性があることは理解している。モデル地区を設定した上で取組を要望し、他の地区に展開していくこともできる。(事務局)

(小林委員)

買物支援ならインターネットの活用等で対応できるため、あくまで議論の中心は、移動支援だと考える。

(入谷委員)

地域政策担当の方が各地区に配置されていることを活用して、移動支援の困りごとに関する情報を収集していただきたい。他地区の情報がないと横断的な議論は難しい。
⇒次回の区民会議に向け、各地区の移動支援に関する課題、困りごとを収集するので、そこから区民会議で取り組むことを決めていく方向性で進めたい。(事務局)

(鈴木委員)

タクシー事業者が移動支援等の担い手となることが難しいことは理解しているが、改めて見積を取ってみるのはいかが。上限金額の50万円という部分は一旦考えず、2種免許を持っている運転のプロであることから、今一度活用を考えてはどうか。

(事務局)

タクシー事業者等に働きかけを行うこと、各地区の移動支援に関する課題や困り事についての情報収集を行うこと、地区で使用している青パトを移動支援に活用していくことを中心として今後の検討を進めていくこととする。

以 上

第7期第5回相模原市中央区区民会議小委員会（グループ2） 委員出欠席名簿

No.	氏名	所属等	出欠席
1	入谷利郎	小山地区まちづくり会議	出席
2	桑水流良光	相模原市民生委員児童委員協議会	出席
3	小林充明	上溝地区まちづくり会議	出席
4	末永暁子	横山地区まちづくり会議	欠席
5	鈴木泰信	中央地区まちづくり会議	出席
6	田所豊	相模原交通安全協会	出席
7	中村太郎	相模原商工会議所	出席
8	水谷好男	公益社団法人相模原市観光協会	欠席
9	横山志穂	公募委員	出席

（氏名50音順、敬称略）